

第8期大津町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画パブリックコメント

No.	ご意見	回答
1	<p>高齢者の健康やQOLの維持を保つため様々な事業展開がなされていると思います。特に介護状態に至るまでの年数（健康的に）をいかに延伸させるかが今の課題であり今後の課題だと考えます。その中で食事管理は「生きがいづくり」「リハビリ」について「栄養」は重要です。しかし、現文面では、現実難しい部分もあるのでは。配食サービスの事業者＝社会資源の活用を文面に追加してもよいのでは。</p> <p>ちなみに、厚生労働省より「地域高齢者等の健康支援を推進する配色事業の栄養管理の在り方検討会」に該当する事業者を推奨する形もありかと思えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>高齢期の健康づくりに関しては、38ページの基本目標②にあるように、「早くから介護予防に取り組み、健康で自立した生活をおくることができる」という目標があり、これまでも大津町では介護保険事業において、高齢者が生きがいをもって「健康」で安心して暮らすことのできるまちづくりを推進してまいりました。また、高齢者はもとより住民の健康づくりの基本としての「栄養」「食事」は大事な施策要素であり、人々の安心した生活の基本となるものから、65歳到達より前の、壮年青年期あるいは乳幼児期においても、健康づくりの柱として、ヘルス部門(健康保険課)と連携して、「栄養」指導等を進めてきたところです。</p> <p>今回頂きましたご意見にありますように、健康づくりの柱の一つである「栄養」に関しても、配食サービスの事業者に協力いただきながら取り組んでいくことができると考えております。</p> <p>また、令和3年度より、高齢者の特性を踏まえた健康支援の一つとして、計画9ページ以降にありますように、青壮年期から高齢期への切れ目のない健康づくりの支援を行うことを目的に、「高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業」に取</p>

第8期大津町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画パブリックコメント

No.	ご意見	回答
		<p>り組む予定です。</p> <p>ここでは、保健師、管理栄養士等の医療専門職が積極的に関与できるよう体制を構築し、要介護状態及び重症化予防のためのフレイル予防の重要性について、住民への浸透を行ってまいります。健康保険課とも連携しながら、住民の重要な健康づくりの指標である健診結果や医療データ・介護データを活用し、管理栄養士を雇用して支援を行います。</p>